

## きらめき 地場企業

無添加の洗顔用せっけんを1枚ずつ薄くカットし、容器に詰めた「バースデーストーンソープ」を開発、販売している。1枚で使い切るタイプのせっけん、容器には誕生石に見立てたダイヤモンド状の石（ラインストーン）を付けた。「誕生日の贈り物になるせっけん」として、一般的なせっけんとは差別化を図っている。

エンジンアだった小林由紀社長は当初、情報技術（IT）のスキルを生かし、遊べるスマートフォン用アプリの開発などを手がけていた。約3年前、女性向けに贈り物を届けるようなアプリを構想していた際、ふと、誕生石を組み合わせた商品開発を思いつい

# せっけんと誕生石コラボ

デキャンタージュ（福岡市中央区）



「バースデーストーンソープを国内外に広めていきたい」と語る小林社長

- ▽創業 2008年（設立は13年）
- ▽資本金 500万円  
（売上高は非公表）

た。

自身がアレルギー体質で無添加せっけんを使っていたこともあり、大分市でせっけんメーカーを営む親戚に生産を依頼。ルビー（7月）など、月ごとの誕生石の色のストーンを容器に付けた。せっけんは旅行先などで使いやすいよ

うに、1枚の長さを約3センチにするなどの気配りもした。だが、最初に臨んだ関西地区の商工会議所の商談会では、「10社以上と交渉したが成立しなかった」。続く福岡商議所の商談会で小売り大手「丸井」のバイヤーの目に留まり、2015年4月、東京

の有楽町マルイの催事で販売。2週間で約70万円を売り上げたという。

今年2月にはゲーム会社「カプコン」の依頼で、ゲームをモチーフにしたせっけんを一時販売するなど軌道に乗り始めた。小林社長は10月、全国商工会議所女性会連合会主催の今年度の「女性起業家大賞」で優秀賞を受賞した。

現在は、福岡市の商業施設・博多リブレインモール内のセレクトショップ「九州マルシェ」に常設の売り場があり、10枚入りや56枚入りを10000～50000円台で販売。インターネットでも購入できる。1人で会社を担う小林社長は「東京五輪・パラリンピックで訪れる観光客にも販売し、ゆくゆくは世界に広めたい」と夢を描いている。

（井上忠明）